

粟国村村民牧場事業経営戦略

団 体 名	:	粟国村
事 業 名	:	牧場事業
策 定 日	:	令和 6 年 3 月
計 画 期 間	:	令和 5 年度 ~ 令和 15 年度

※複数の施設を有する事業にあつては、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適	事 業 開 始 年 度	平成10年4月1日
事 業 の 種 類	観光施設業	施 設 名	粟国村村営牧場
職 員 数	3 人		
事 業 の 内 容	<p>肉用牛生産振興のための牧場管理運営を行っており、主な事業内容は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肉用牛の飼養管理、子牛の生産、育成、保留、販売業務 2. 肉用牛の生産のための草地の管理、生産、刈取、施肥等 3. 草地や牛舎を管理するための機械等の保守管理・点検等 4. その他牧場管理運営に関すること 		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	受精卵移植業務や消費税申告業務及び経営戦略策定業務を民間へ委託しています。	
	イ 指定管理者制度	該当なし	
	ウ PPP・PFI	該当なし	

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	繁殖牛は沖縄本島にある「南部家畜セリ市場」へ出荷・販売しており、その販売単価は市場価格に応じて変動しています。	
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	なし	市場価格に応じて変動するため

(3) 現在の経営状況

年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	R4	61頭	R3	55頭	R2	56頭
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R4	85.40%	R3	51.87%	R2	108.03%
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R4	76.88%	R3	51.87%	R2	108.03%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	R4	8.52%	R3	0.00%	R2	0.00%
有形固定資産減価償却率 ※過去3年度分を記載	R4	74.36%	R3	72.95%	R2	81.81%
企業債残高対料金収入比率 ※過去3年度分を記載	R4	0.00%	R3	0.00%	R2	0.00%

本村の牧場事業では令和3年度以降の経常収支比率は100%を切っており収支不足が生じております。その主な要因として繁殖牛の出荷単価の減少によるものです。また、令和5年度は親牛の高齢化による繁殖牛の生産率が減少する見通しです。今後は、親牛を増やし繁殖牛の安定生産により収入増加に努めます。

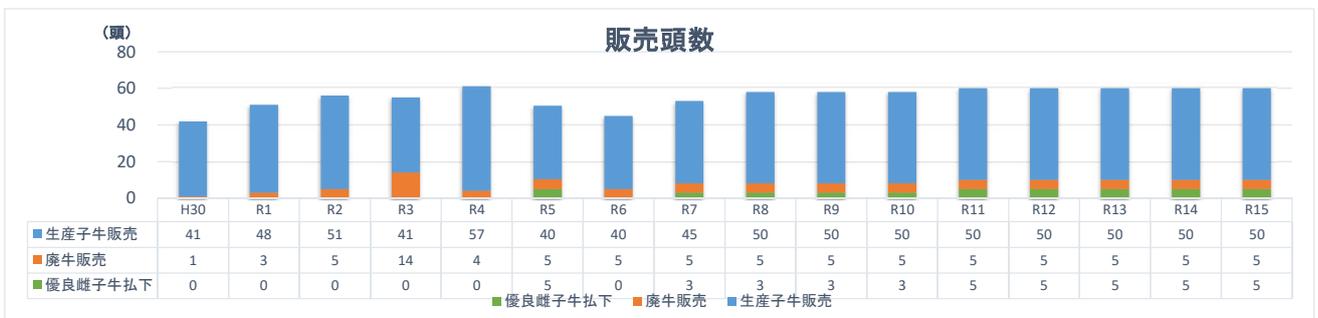
2. 将来の事業環境

(1) 宿泊客数(観光客数)の見通し

本村が運営する村民牧場は、粟国島の北東部(粟国空港隣)に位置しています。空港隣の広大な土地にはソテツ原野が広がっていますが、本村は「ソテツの島」と呼ばれるほど自生のソテツが多い島です。昔は飢饉の際の非常食糧として、欠かすことのできない作物でした。その精神は現在も受け継がれ、ソテツは粟国村の村花木に指定されています。

これらの土地は主に村民が所有していますが、ソテツ原野保護の要望に対応するため、併せて土地を有効活用する手段として検討した結果、村民牧場事業特別会計を設置、平成10年4月より村営事業を行ってきました。現在ではソテツ原野の保護を行いながら、村民牧場として牛の飼育、牧草の育成を行っています。

牧場事業の主な収入は和牛子牛の販売を行っており、販売頭数は以下のとおり推移する見通しです。



(2) 料金収入の見通し

販売頭数は上記(1)の通り推移する見通しです。販売単価につきましては次の見通しです。

①生産子牛販売
令和5年度から令和9年度の販売単価は@500千円/頭、令和10年度以降は@550千円/頭を見込んでいます。

②廃牛販売
令和5年度以降の販売単価は@200千円/頭を見込んでいます。

③優良雌子牛払下
令和5年度以降の販売単価は@100千円/頭を見込んでいます。

		2022年 R4	2023年 R5	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14	2033年 R15
生産子牛販売	出荷頭数	57頭	40頭	40頭	45頭	50頭	50頭	50頭	50頭	50頭	50頭	50頭	50頭
	生産額	21,826千円	14,800千円	20,000千円	22,500千円	25,000千円	25,000千円	27,500千円	27,500千円	27,500千円	27,500千円	27,500千円	27,500千円
	単価	383千円	370千円	500千円	500千円	500千円	500千円	550千円	550千円	550千円	550千円	550千円	550千円
廃牛販売	出荷頭数	4頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭
	生産額	853千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円
	単価	213千円	185千円	200千円	200千円	200千円	200千円	200千円	200千円	200千円	200千円	200千円	200千円
優良雌子牛払下	出荷頭数	—	5頭	3頭	3頭	3頭	3頭	3頭	5頭	5頭	5頭	5頭	5頭
	生産額	—	500千円	300千円	300千円	300千円	300千円	300千円	500千円	500千円	500千円	500千円	500千円
	単価	—	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円

(3) 施設の見通し

上記1.事業概要(3)現在の経営状況 有形固定資産減価償却率によりますと、施設等の老朽化が進んでおり、令和8年度に牛舎の大規模修繕を予定しております。また、その他施設は、定期的な点検及び修理を行うことで長寿命化を図り、更新コストを抑制します。本計画期間中に施設等の新規整備及び更新の予定はありません。

		R2	R3	R4
建物	取得価格	47,996千円	47,996千円	47,996千円
	減価償却累計額	39,297千円	40,647千円	41,388千円
	有形固定資産減価償却率	81.88%	84.69%	86.23%
工作物	取得価格	千円	8,690千円	8,690千円
	減価償却累計額	千円	千円	869千円
	有形固定資産減価償却率	0.00%	0.00%	10.00%
物品	取得価格	10,144千円	10,144千円	10,144千円
	減価償却累計額	10,144千円	10,144千円	10,144千円
	有形固定資産減価償却率	100.00%	100.00%	100.00%
生物	取得価格	6,038千円	8,374千円	10,986千円
	減価償却累計額	3,063千円	4,071千円	5,466千円
	有形固定資産減価償却率	50.73%	48.62%	49.75%
合計	取得価格	64,178千円	75,204千円	77,817千円
	減価償却累計額	52,504千円	54,862千円	57,867千円
	有形固定資産減価償却率	81.81%	72.95%	74.36%

(4) 組織の見通し

本村の牧場事業は経済課が所管しており、会計年度任用職員3人で牧場事業の運営を行っております。主な業務として肉用牛の飼養管理、子牛の生産、育成、保留、販売業務や草地や牛舎を管理するための機械等の保守管理・点検等、多岐に渡り職員1人当たりの負担が大きくなっています。しかし、当面は現在の体制を維持しながらコストの削減に努めます。

3. 経営の基本方針

栗国村民牧場は、栗国村の畜産の発展を図るため、村内畜産農家に対し優良雌牛や粗飼料の供給、耕種農家への堆肥の供給、畜産農家の担い手を育成する等を目的として計画し、平成7年～8年度団体営草地開発整備事業により飼料基盤及び施設を整備しました。
成雌牛を増やしながらか収益の確保を図り、安定経営を行い、一般会計繰入金削減に努めます。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり
(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	施設及び設備の修繕・補修については維持管理に努めるとともに、定期点検等により予防保全に努め施設及び設備の長寿命化を図ります。
-----	--

令和5年度以降に計画している投資は以下の通りです。

- ① 牧場保留牛の購入を令和5年度から令和6年度に年間10頭計画しています。また、1頭当たりの購入単価は@900千円を予定しています。
② 土地購入費を令和5年度から令和6年度に毎年度1,000千円、令和7年度以降に2,000千円予定しています。
③ 令和8年度に施設及び設備の修繕(牛舎等)10,000千円予定しています。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	本牧場事業の主な収入は生産子牛販売収入となっています。そのため、牧場保留牛を増やし生産性の向上に努めるとともに、母牛に対し次の取り組みをおこないます。 ① 人工授精による生産強化 ② 親牛の入替(若返り)により生産性の向上
-----	---

【生産物売払収入】

生産物売払収入については、上記2. 将来の事業環境(2) 料金収入の見通しに記載した通りです。

【その他収入】

令和5年度予算額で推移するものとしています。

【繰入金】

収支不足額を一般会計から繰入する予定です。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

牧場事業の経費の推移について令和5年度予算額又は、過去3か年の平均で推移するものとしていますが、下記の経費につきましては個別で算出しております。
委託料: 5年毎に経営戦略作成委託料を追加しています。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。
また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	予定はありません。
投資の適正化	予定はありません。
その他の取組	予定はありません。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	現在、収支不足額を一般会計から繰入している状態ですが、本牧場事業の主な収入である生産物売払収入を増やすため、母牛を増やし生産性の向上により、一般会計からの繰入金削減に努めます。
稼働率・利用者数	該当なし
企業債	現時点での予定はありませんが、新規整備や大規模修繕に応じてその都度検討します。
繰入金	生産物売払収入増加への取り組みを行いながらも、なお収支不足額が発生した場合には一般会計繰入金により収支均衡を図ります。
資産の有効活用等による収入増加の取組	予定はありません。
その他の取組	予定はありません。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	受精卵移植業務や毎年度の消費税申告業務委託、経営戦略作成委託料を5年後毎に計上しています。
管理運営費	該当なし
職員給与費	現行の人員体制を維持していきます
その他の取組	該当なし

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	本村の村営牧場は、「ナビィーの恋」の牧場ロケ地になっており、本村の観光振興を担っています。また、粟国村の畜産の発展を図るため、村内畜産農家に対し優良雌牛や粗飼料の供給、耕種農家への堆肥の供給、畜産農家の担い手を育成等を目的としており、畜産振興にも大きく寄与しています。
公営企業として実施する必要性	本村が運営する村民牧場は、ソテツ原野保護及び土地を有効活用する手段として平成10年4月に村民牧場事業特別会計を設置運営を行っています。現在ではソテツ原野の保護を行いながら、村民牧場として牛の飼育、牧草の育成を行っています。 本村の牧場事業は観光振興・環境保全の観点からも必要な施設です。今後も継続して村民・観光客に施設提供を行うためにも公営企業で事業を実施する必要があります。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	「経営戦略」の各施策を着実に実行し、安定的な事業を継続するために、PDCAサイクルにより、計画と実施状況の進捗管理を行います。 また、「経営戦略」の定期的な見直しについては5年ごと、社会情勢の変化に応じて適時に行います。
---------------------	---

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
		(決算)	〔決算見込〕										
収支再差引	(E)+(I)	(J)	△ 4,346	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金	(K)	(L)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度からの繰越金	(L)	(M)	4,846	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
前年度繰上充用金	(M)	(N)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)	(N)	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)	(P)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実質収支	(N)-(O)	(Q)	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
赤字比率	($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収益的収支比率	($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$)		96.1	130.1	131.3	106.3	104.7	106.3	106.1	106.1	106.1	106.1	106.1
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金不足額	(R)												
営業収益－受託工事収益	(B)-(C)	(S)	22,880	16,843	21,541	24,341	26,841	26,841	29,341	29,541	29,541	29,541	29,541
地方財政法による資金不足の比率	((R)/(S) × 100)												
健全化法施行令第16条により算定した資金不足額	(T)												
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額	(U)												
健全化法施行令第17条により算定した事業の規模	(V)												
健全化法第22条により算定した資金不足比率	((T)/(V) × 100)												
他会計借入金残高	(W)												
地方債残高	(X)												

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
		(決算)	〔決算見込〕										
収益的収支分		2,536	26,376	20,361	9,471	17,272	7,062	5,440	5,027	5,045	5,045	5,045	5,485
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金		2,536	26,376	20,361	9,471	17,272	7,062	5,440	5,027	5,045	5,045	5,045	5,485
資本的収支分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		2,536	26,376	20,361	9,471	17,272	7,062	5,440	5,027	5,045	5,045	5,045	5,485